

日本学術会議 社会学委員会「フューチャー・ソシオロジー分科会」

第24期・第6回会合議事要旨

(2020年8月22日 オンライン)

14:00～16:15

出席者

今田高俊 遠藤薫 西條辰義 佐藤嘉倫 立川雅司 友枝敏雄 野宮大志郎 本田由紀  
矢澤修次郎 渡邊秀樹

1. 佐藤委員より、奈良由美子・稲村哲也（編）『レジリエンスの諸相——人類史的視点からの挑戦』（放送大学教育振興会,2018年）について報告があり、野宮委員より、Zolli, Andrew & Marie Healy. 2012. (須川綾子（訳）『レジリエンス復活力：あらゆるシステムの破綻と回復を分けるものは何か』2013年、ダイヤモンドグラフィック社。原著タイトルは、Resilience: Why Things Bounce Back. Owls Agency Inc. 2012 である。) について報告があった。
2. 両報告をふまえて、「レジリエンス」をめぐって議論を行った。  
議論を通して、「レジリエンス」についての理解を深めることができた。
3. 以上の議論をふまえると、レジリエンスという概念は、まだ十分に熟してはいないが、考察の道具として重要であるとの共通認識に至った。そこで、野宮委員長と佐藤副委員長の方で、これまでの議論を整理するとともに、次期への引き継ぎ事項も含めたメモを作成することにした。